



親子で豆腐を使った白玉だんご作りに挑戦

親子で考える「食」の大切さ くにみ食の映画祭

「くにみ食の映画祭」が11月4日、観月台文化センターで行われ、給食で昔ながらの和食を提供している保育園のドキュメンタリー映画「いただきます みそしるをつくるこどもたち」を親子で鑑賞しました。食育体験コーナーでは、親子でみそ玉作りや豆腐を使った白玉だんご作りなどを体験したほか、国見かあちゃんグループによる豆腐ごはん豚汁に舌鼓を打ちました。



あんぼ柿作りを体験する参加者

歴史と特産のあんぼ柿で国見を満喫 秋のくにみ周遊ツアー

道の駅国見あつかしの郷からバスで巡る「秋のくにみ周遊ツアー」が11月8日と9日に行われ、仙台圏を中心に40人が参加しました。ツアー参加者は、くにみ案内人の説明を聞きながら奥山家住宅洋館や阿津賀志山防塁下二重堀地区などを巡るまち歩きを満喫した後、「あんぼ柿」作りを体験。参加者は農家の説明を聞きながら皮むきや紐通し作業を体験しました。



ハイキングを通して交流を深めた参加者

楽しみながら地域の交流を深める 紅葉の霊山ハイキング

小坂地区スポーツ振興会（赤坂齋会長）主催の「紅葉の霊山ハイキング」が11月10日、小坂地区の住民15名が参加して行われました。

当日は天候にも恵まれて、少し汗ばむくらいの陽気となり落ち葉を踏みしめながら秋の霊山をハイキング。参加者は楽しみながら地域の交流を深めました。



木のスプーン作りに挑戦

みんなで暮らしたい町の姿を想像 空想マルシェ

株式会社家守舎桃ノ音（上神田健太代表取締役）主催の空想マルシェが11月17日、藤田駅前の「アカリ」を会場に行われました。テーマは「みんなの空想を持ち寄って、暮らしたい町の姿をつくろう」。さまざまなワークショップが行われたり、飲食店などが出店したほか、路上に子どもたちがチョークで自由に絵を描くなど、それぞれの思いを描く1日となりました。



意見交換をする太田町長と商工会役員のみなさん

商店街の活性化を 国見町商工会役員と町長が懇談会

国見町商工会役員（渡辺勝弘会長）と太田久雄町長の懇談会が11月19日、国見町役場で行われ、「商店街の活性化」をテーマに意見交換をしました。

懇談会では、町や商店街を取り巻く現状について情報共有するとともに、商店街活性化やまちづくりに関する提案など、積極的な意見交換が行われました。



ソフトボールで交流を深めた大木戸地区のみなさん

世代を超えた交流 第5回大木戸地区ソフトボール大会

大木戸スポーツ振興会（志村浩雄会長）主催の第5回大木戸地区ソフトボール大会が10月5日、上野台運動公園で行われ、30名が参加しました。大会では、中学生から大人まで幅広い世代で編成された3チームが熱戦を繰り広げ、大木戸チームが大逆転で初優勝。秋晴れの下、参加者は爽やかな汗を流し、交流を深めました。



ミニトマトの選別を体験

研修相談会 くにみ農業ビジネス訓練所参観デー

くにみ農業ビジネス訓練所参観デーが10月27日、訓練所の施設で開かれ、研修内容の説明やミニトマトの養液栽培ハウスの見学などが行われました。

また、訓練所で収穫した野菜の直売や焼き芋の提供などもあり、参加者は訓練所の取り組みについて理解を深めています。



いい本に出会うためには

本に親しみ 楽しさを知る 子ども司書講座 おはなし会&親子選書会

第7回子ども司書講座のおはなし会&親子選書会が11月2日、観月台文化センターで行われました。参加した親子は、福島子どもの本をひろめる会の瓶子美千子さんのお話を聞いたり、「親子選書会」では約500冊の本の中から読んでみたい本やおすすめの本を選びました。選ばれた本はランキングを付け、図書室で貸出することになっています。



古民家を基点に自分たちを見つめ直す

『出会う、気づく、見つめる』 古民家を基点に短期ホイスコーレ開催

短期ホイスコーレ2019が11月2日から4日までの3日間、石母田地区の古民家を基点に行われました。

首都圏などから参加した12名は、フィールドワークや農作業体験を通して、さまざまな知恵や技術を持つ人と出会い、話を聞き、国見の地域性を理解することで、さまざまな生き方や考え方があることを学びました。



支援機導入を記念してテープカット

アスリートを応援 JOCオリンピック支援機導入披露式

JOCオリンピック支援機（自動販売機）の導入披露式が11月3日、上野台体育館前で太田久雄町長や東京2020大会ゴールドパートナーのコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社などの関係者が出席して行われました。

支援機は上野台運動公園内に4台設置され、売上の一部はJOCを通じてアスリート育成などに活用されます。